



2025年1月9日
(幼保連)認定こども園さふらん

園だより

1月号



1月の聖句

互いに愛し合いなさい

ヨハネによる福音書 15章12節

明けましておめでとうございます。

関東地方は穏やかな晴天のお正月、それぞれのご家庭でゆっくりと過ごされたことでしょう。

昨年の12月13日に詩人の谷川俊太郎さんが亡くなりました。詩だけでなくレオ・レオニ作の絵本「スイミー」の翻訳や「かっぱかっぱらった」などの軽快なリズムの言葉遊び歌など子ども達はその詩に自然に触れてきました。

亡くなった報道があった次の日、山本教諭が「私の母校、鶴川第三小学校の校歌が谷川俊太郎さんの作詞だったの！この歌が好きで今でも覚えている」と・・・

1975年、作曲は山本直純さん当時第一線で活躍していたお二人による校歌です。

- ♪1 わらう おこる べそをかく ころろがゆれる ころろがはずむ
ころろがころろを よんでいる あのまど このまど ともだちだ
ちえをあつめ みんなのあしたを みんなのあしたを つくってゆこう
- 2 ころぶ はしる とびこえる からだがしなう からだがはずむ
からだとからだがぶつかる あのくに このくに ともだちだ
力をあわせ ひとつのちきゅうを ひとつのちきゅうを まもってゆこう

今から50年前で高度成長期真只中、さふらん幼稚園創立の3年後に作られたこの詩は未来を背負う子どもへの希望に満ちたメッセージが込められています。

ご父母の中には母校だった方もいらっしゃることでしょう。今、世界で起きている戦争の惨禍を目の当たりにして“ひとつのちきゅうを まもってゆこう”の言葉が胸に刺さります。今年こそ平和が訪れることを切に祈ります。

3学期がスタートしました。1月は、かるた・凧揚げ・羽根つき・コマ回しなどのお正月遊びやお餅つきを皆で楽しみます。

「1月は行く・2月は逃げる・3月は去る」のことわざ通り短い期間ですが進級・入学への希望に満ちた日々でもあります。寒さも厳しくなります。健康に留意して元気に過ごして欲しいと願っています。



今月の聖句は、イエスが十字架につけられる前の夜、最後の晩餐の時に弟子たちに教えられた言葉です。その前に「私があなたがたを愛したように」とあります。

分かりやすい言葉ですが、行うのはとても難しいです。けれど人間関係にとって大切です。是非心にとめておきたいです。



□献金のお礼

クリスマスに皆様が捧げてくださった献金の送り先から領収書やお礼の手紙が届き始めました。随時、園内の掲示板に掲示していきますのでご覧ください。

(来月の園だよりで皆様に配信する予定です。)



ともに歩む会(シエラレオネ給食支援)の代表の方からの手紙です。
温かいおこころざしをありがとうございました。